

赤ひげは嘆き、怒っています!!

赤ひげ
怒る理由

4年前の斉藤あきら市政の公約は
「市民病院の再建！」

「舞鶴地区の医療再編」に
いつのまにか方向転換

市民の血税からの
総補てん額
32億円※

市民病院の運営

毎年約**10億円もの赤字をたれ流し!**

「市民病院の再建」も「医療再編案の進展」も
ほとんどなし!

現実を真剣にとらえた反対意見に耳を貸すことなく

全ての責任を他に転嫁!

※平成19～21年度の3年間

赤ひげ
怒る理由

斉藤あきら現市長の
「舞鶴医療再編」を始めとする構想
舞鶴医療センターに
新病院建設計画

約**100億円**
もの費用!

- 問題1 膨大な投資に対する財源はどうするのでしょうか?
- 問題2 医師を始めとする医療スタッフの確保はできるのでしょうか?
- 問題3 健全な運営はできるのでしょうか?
- 問題4 他の病院と競合(スタッフ・患者の獲得)になり共倒れしないのでしょうか? など

巨大な箱モノの運営費と初期投資の
多大な借金に永く悩まされる事になります

赤ひげ
怒る理由

斉藤あきら現市長の
経済・教育・福祉他を
見ると

しっかりとした財源の確保もなしに
「票獲り目当て」だけ!

自分たちだけの得な事のみ
潤沢な予算をつける
自己中心的な構想

財政悪化
そのツケは私たちに!

赤ひげの考え

「毎年10億円ものムダ使い」を、もっと有効に**市民の為**に使えたらと考えています

赤ひげの
熱い想い

現在舞鶴市の人口は9万人を下回っています。あらゆる面(収入・支出共に)で縮小していきます。
経営の成り立たない「箱モノ」は必要ありません。
現在の状況や将来を考える上で、大規模な「箱モノ」への投資は危険です!
この方向性を間違えると、本当に破綻に向かって進むこととなります。
次世代に大きな負の遺産を残さないために…

- まずは巨額の赤字をかかえる
「市民病院問題」の解決!
- 斉藤あきら現市長の
「バラ色のバラマキ構想」を止める!

舞鶴市民の皆さんへ

共済病院を守ることのみ思うなら病院長を辞す必要などありません。
舞鶴全体のことを思うがゆえに市政を正す決意をしたのです。

りょう そう
たため良三 (多々見良三)

ホームページもご覧ください

舞鶴医療改革(たため良三ブログ)
<http://tatamimkb.jugem.jp/>

舞鶴医療改革 検索



携帯電話からの
アクセスはこちら

